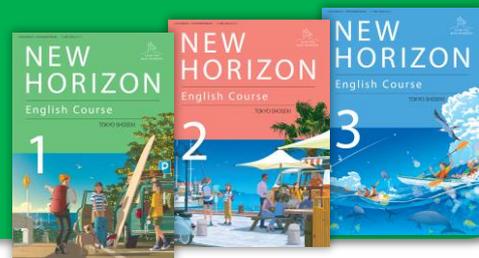


NEW HORIZON

English Course



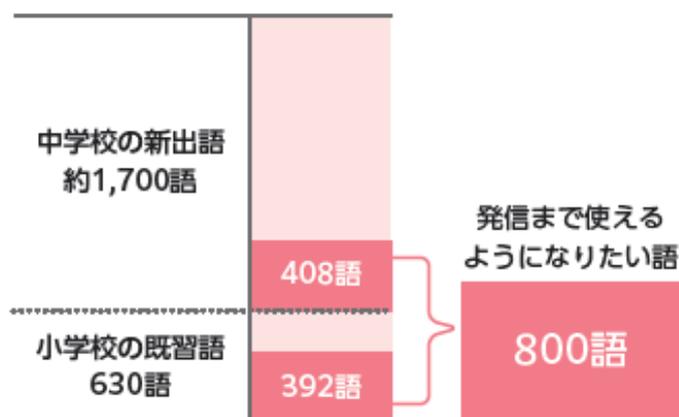
新しい教科書における語彙の扱いについて

POINT 1 「発信まで使えるようになりたい語」を800語に厳選

メリハリをつけた語彙学習を実現

教科書で扱う約2,300語のうち、800語を「発信まで使えるようになりたい語」に設定し、太字で示しています。中学生が読んだり、自己表現したりする際に必要とされる単語を、小中学校の教科書や複数のコースを用いて選定し、教科書内にくり返し提示して定着できるように工夫しました。

800語以外の単語は、生徒の発達段階に応じて、聞いたり読んだりしたときに意味が分かるように指導することを意図しています。



POINT 2 語彙の学習をもっと楽しく、よりていねいに

小学校の単語

New Wordsと「小学校の単語」を1か所にまとめて提示。新出単語は多くなり過ぎないように調整しています。



デジタルクイズで定着を確認

全パートにクイズ形式の練習問題がついています。QRコードからアクセスできます。(文法についても同様のクイズがあります。)



▲デジタルクイズ

発信語彙・受信語彙の内訳

①小学校の単語	発信	受容	計
小学校の単語	392	238	630
うちBook 1ではじめて登場する語	392	238	630
うちBook 2ではじめて登場する語	0	0	0
うちBook 3ではじめて登場する語	0	0	0

②中学校の単語(New Words)	発信	受容	計
Book 1	204	150	354
Book 2	144	311	455
Book 3	60	327	387
計	408	788	1,196

③資料ページ	発信	受容	計
Book 1	0	13	13
Book 2	0	194	194
Book 3	0	285	285
計	0	492	492

小学校の単語 ①の630語

中学校の単語 ②の1,196語 + ③の492語 = 1,688語

計 2,318語

POINT!

小学校既習語から392語、中学校新出語から408語の合計800語を「発信まで使えるようにしたい語」に

POINT!

受容語彙は、教科書本文だけでなく、巻末資料編など本文以外の部分でも扱い、生徒の負担を軽減

POINT!

新学習指導要領で示されている、小学校で「600～700語」中学校で「1,600～1,800語」合計で「2,200～2,500語」の範囲におさまる語数になっています。

